

## 「高野岩三郎・D. リャザーノフとの 往復書簡（1928～1930年）」を公開

早川 征一郎

2006年4月7日、「大原デジタルアーカイブス」の「史料」コーナーに、「高野岩三郎・D. リャザーノフとの往復書簡（1928～1930年）」（以下、「往復書簡」と略す）を公開しました。

●大原デジタルアーカイブス

<http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/arc/index.html>

●「高野岩三郎・D. リャザーノフとの往復書簡（1928～1930年）」

<http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/rjazanov/index.html>

この「往復書簡」は、これまで『高野日記』などで、その存在が知られていたが、書簡そのものがどこに現存するかは不確かであった。ところが、大村泉・東北大学大学院経済学研究科教授によって、この「往復書簡」が現在、ロシア国立社会＝政治史アルヒーフ（モスクワ、旧マルクス＝レーニン主義研究所アルヒーフ部門）に所蔵されていることが確認され、同アルヒーフ所員の許可を受けて、撮影され、写真版が作成された。2005年5月21日、大原社会問題研究所は、大村教授から寄贈を受け、その後、WEB上で公開すべく準備を進めていた。

この「往復書簡」は、主として、大原社会問題研究所（内藤赳夫作成）『日本マルクス主義文献』1929年および聯盟社版『マルクス＝エンゲルス全集』の翻訳・刊行企画に関するものが中心となっている。

この「往復書簡」の概要、意義および内藤赳夫作成『日本マルクス主義文献』の意義については、大村泉「高野岩三郎・D. リャザーノフとの往復書簡」（『大原社会問題研究所雑誌』2005年6月号、559号）および久保誠二郎「大原社会問題研究所『日本マルクス主義文献』（未刊行）の意義」（『大原社会問題研究所雑誌』2005年6月号、559号）を参照されたい。どちらも、WEB上からもアクセスできるようになっている。

戦前期の大原社会問題研究所の歴史の一コマが、上記の大村論文および久保論文でさらに明らかになったことは大変、意義深い。今回、このようなかたちで、「往復書簡」が、大原社会問題研究所のWEBサイトで公開されたのも同様である。最後になったが、大村泉教授に、心からの謝意を表明したい。

（はやかわ・せいいちろう 法政大学大原社会問題  
研究所教授）

ロシア国立社会＝政治史アルヒーフ所蔵大原社研関連文書概観

最初にアルヒーフ所蔵の上記諸文書を概観しよう。大半が書簡であるこれらの諸文書を(1)作成日 (2)発信者→受領者(受領日\*(1)) (3)分量その他に区分した上で、概要を摘記すれば次のようになる。なお以下の一覧でモスクワ発信のもの(いずれも高野に送ったものの写し(控え)だが、リャザーノフら発信人の署名が全てに記入されている。

No.	画像	諸文書 作成日	(書簡)発信者 →受領者 (受領日)	枚数など	概要
1		1928.1.27	リャザーノフ →高野 (1928.2.20)	1頁 (タイプ)	1927年12月2日付高野岩三郎発信リャザーノフ書簡受領の連絡
2-1 2-2		1928.4.17	リャザーノフ →高野 (1928.5.7)	2頁 (タイプ)	Dr. Ryuに関する問い合わせ
3		1928.6.18	リャザーノフ →高野	1枚 (タイプ)	改造社と聯盟版の二つの『マルクス＝エンゲルス全集』の企画の問い合わせ：“Welche Marxengels Ausgabe unterstützen und bearbeiten Sie? Telegraphieret und ...” (書簡タイプ) / 『マルクス＝エンゲルス全集』

ИНСТИТУТ К. МАРКСА И Ф. ЭНГЕЛЬСА  
при ЦКНС ССРС  
НАУЧНО-БИБЛИОТЕЧНЫЙ ОТДЕЛ

№ 541. 11. Юни 1928.

Ваше  
Профессору Такадзиро Сато,у,  
Tokyo Institute of Social Research,  
3-3-15, (S.Y.M.C.)

Ваше почтовое письмо получено, спасибо вам большое за внимание к нашей работе и за предложение о сотрудничестве. Мы рады, что вы так высоко цените нашу работу и готовы к сотрудничеству. Мы постараемся удовлетворить все ваши требования.

Ваше предложение о сотрудничестве мы рассмотрим с интересом. Мы постараемся удовлетворить все ваши требования.

Мы рады, что вы так высоко цените нашу работу и готовы к сотрудничеству. Мы постараемся удовлетворить все ваши требования.

Мы постараемся удовлетворить все ваши требования.

11. Juni 1928.

Herrn  
Professor Takadziro Satou,  
Tokyo Institute of Social Research,  
3-3-15, (S.Y.M.C.)

Sehr geehrter Herr Satou,

Ihre Briefe sind bei uns angekommen. Wir danken Ihnen sehr für die Aufmerksamkeit, die Sie uns entgegenbringen. Wir sind sehr erfreut, dass Sie sich für unsere Arbeit interessieren und uns ein Angebot zur Zusammenarbeit machen. Wir werden Ihr Angebot mit Interesse betrachten und versuchen, alle Ihre Anforderungen zu erfüllen.

Wir sind sehr dankbar für Ihre Aufmerksamkeit und Ihre Bereitschaft, mit uns zusammenzuarbeiten. Wir werden Ihr Angebot mit Interesse betrachten und versuchen, alle Ihre Anforderungen zu erfüllen.

Wir sind sehr dankbar für Ihre Aufmerksamkeit und Ihre Bereitschaft, mit uns zusammenzuarbeiten. Wir werden Ihr Angebot mit Interesse betrachten und versuchen, alle Ihre Anforderungen zu erfüllen.